

療育支援プログラム

往復送迎
個別療育

集団活動
社会見学

営業時間：9：00～17：00
月曜日～土曜日（第2・第4土曜日定休）
送迎実施の有無：有

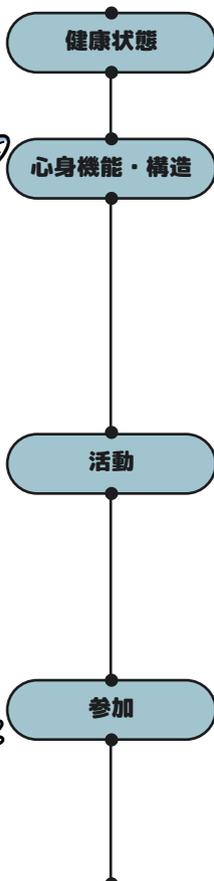
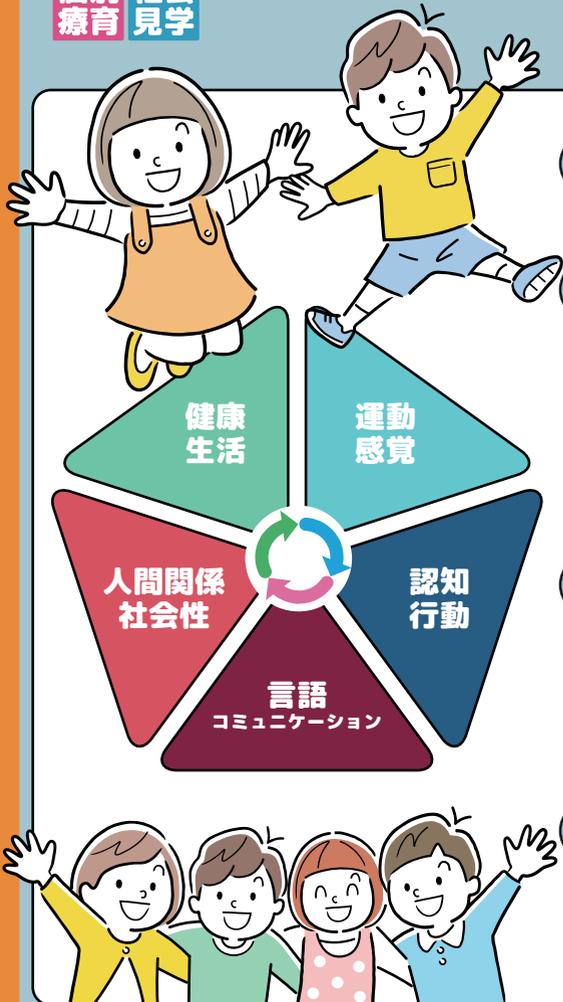


支援の理念

保護者様の意向を前提に、児童が成長とともに生きづらさを感じることなく、健やかに生活していけるよう支援を行います。

支援方針

- ① 保護者様の児童に対する意向（好きな事・苦手な事・これからどのように成長していくことを望まれるか等）の聴き取りをしっかりと行います。
- ② 保護者様の意向を前提に、現状抱えている課題や問題点について、その解決すべき方法を児童と話し合い、自らのゴール設定を設け、スキルアップに繋げていきます。
- ③ 保護者様との情報共有を定期的また必要な時はその都度行い、適切な時期に適切な支援を提供できるよう努めます。
- ④ 児童の個々の特性を把握し、成長に沿った活動を提供します。



< 健康・生活 >

- 定時の検温、手洗い（来所時・昼食前・おやつ前・外出後）を徹底する。
- 事業所内のこまめな換気を行う。

< 運動・感覚 >

- 体を動かす活動を積極的に行い、体幹を鍛えるとともに脳の活性化を促す。
- 室外では遊具や集団遊び、室内ではサーキットを取り入れたゲームなどで『自発的に動く・『楽しいと感じる』ことを目的とした活動を行う。

< 認知・行動 >

- 視覚で確認できるスケジュール表を掲示し、自分で確認し、行動できるよう促す。
- 活動や制作は、始める前にわかりやすく説明を行い、理解・納得したうえで参加できるよう配慮しながら進める。

< 言語・コミュニケーション >

- スタッフが適宜声かけや仲介に入り、児童同士の円滑なコミュニケーションを促す。
- スタッフから児童への『問いかけ』を頻繁に行い、自ら気づき、行動を決め、実行し、学び、成長していくことをサポートする。

< 人間関係・社会性 >

- 児童をひとりの人間として見つめ、しっかり話を聞く。日常の挨拶を必ず行い、促すことで社会性の構築をサポートする。
- 将来的に必要な知識や学習を個々の状況に合わせたカリキュラムに沿って指導する。

個人因子

< 家族支援 >

- 家庭内において、児童への影響が懸念される問題について、保護者様の希望があった場合は、できる限り相談に応じ、改善に向けて協力する。
- 関係各所への届出等において、往訪が困難な場合（体調不良、交通手段がない等）は必要に応じて同行・送迎を行う。

< 移行支援 >

- 児童のライフステージの切り替えにおいてスムーズに移行ができるよう保護者様と連携を取り、適切な支援計画を作成する。
- 就学時、進学時の通所について、必要に応じて通所自立サポートを行う。

環境因子

< 地域支援・地域連携 >

- 保護者様の承諾を得て、小学校や幼稚園に訪問し、児童の様子や行事等について確認する。
- 相談室や近隣事業所と定期的に連絡をとり、現状の確認や情報交換を行う。

< 職員の質の向上 >

- スタッフのスキルアップを目的とした事業所内・外部研修を年2回以上行う。
- より良い支援のために有効な研修は積極的に受講する。

< 主な行事等 >

・お誕生日会（月1回）・クリスマス会・流しそうめん（夏季）・クッキング（月1回程度）・施設見学（下水道科学館、白い恋人パーク等）・水遊び（事業所前、モエレ沼公園、農試公園等）

令和6年8月20日作成